

有線式バーコードリーダー クイックスタートガイド



対象機種

F560	A560	L680
		
F780	A780	
		

この度は Cino 有線式バーコードリーダーを
ご購入頂き誠にありがとうございます。

ご利用前に本誌を十分にお読みいただき製品の準備を行って下さい。

製品のお取り扱いの注意事項

本製品は安全性を十分に考慮して設計されていますが、誤った使い方をすると思わぬ事故の原因となります。ご利用方法を十分に理解してお使い頂けます様お願い申し上げます。

製品の開梱

梱包箱を開けた際は、下記の確認を行ってください。

- ・製品およびケーブル等の損傷がないか確認します。
損傷があった場合は、すぐに配達運送会社および販売店にご連絡ください。
- ・箱の中身に間違いがないか確認します。
- ・修理時の返却もしくは返送が必要な場合に梱包箱が必要になる場合がございます。
大切に保管してください。

ステータスインジケータの表示状態

- ・無点灯 ・ ・ ・ 読み取り待機状態 又は電源 OFF
- ・青点灯（緑点灯） ・ ・ ・ 読み取り成功

設定項目の初期値

- ・本書に記載された設定項目の導入時設定を「※」で表示しております。

免責事項

- ・CINO ブランド（PC Worth 社）及び弊社は、本書に記載された使用およびその他の情報を事前に断りなく変更することがあります。
- ・本書の記載内容や編集上の誤り等で発生した損害については、PCW 及び弊社は一切の責任を負いません。
- ・本書には著作権で保護された情報が含まれ著作権法の対象になります。

サポートページのご案内

各種ツールやドキュメントをご希望の方は下記の URL よりダウンロード頂けます。

「サービス&サポート」のホームページ URL

<http://www.improject.co.jp/support/download.html>

安全上のご注意

この説明書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産へ損害を未然に防止するために、絵表示を用いて説明しております。

取り扱いを誤ったために生じた製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。予めご了承下さい。

・危険



本製品の分解、改造、修理は行なわないで下さい。

異常動作の原因となり、故障、感電、火災の原因となります。
製品の点検、調整、修理は、お買い上げの販売店もしくは弊社サービスセンターへご依頼下さい。
お客様による分解は保証期間対象外となり、有償修理となります。



本製品を火の中、電子レンジ、高温・高圧容器に入れないで下さい。

破裂や発火の原因となり、火災や火傷の恐れがあります。

プラグ、ジャックの端子をショートさせないでください。

大電流による機器の破損、発熱、発火、火災の原因となります。

スキャナやケーブルを加工したり、無理に力をかけないでください。

スキャナの破損やケーブルの被膜破損、断線から火災の原因となります。

・警告



【システム設計者向け 重要事項】

バーコードリーダーからの入力データの誤りにより、人命や財産に影響を与えないよう、十分に留意した冗長設計・安全設計を行なってください。



読み取り窓をのぞき込まない下さい。

安全規格に基づいた投光 LED を使用していますが、視力障害を起こす可能性があります。

強い磁界や、静電気が発生するところには設置しないでください。

動作不良や故障の原因となります。



濡れた手で本製品に触れないでください。

感電や故障の原因となります。



煙が出たり、異音・異臭がしたらコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災や感電の恐れがあります。お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターへご相談ください。

・警告



読み取り性能維持のため、読み取り窓はきれいな状態でお使いください。

清拭は水もしくは薄めた中性洗剤で軽く湿った柔らかい布を用いてください。シンナーやベンジン等の有機溶剤や、研磨剤を含む洗剤は使用しないで下さい。

落下や転倒の恐れがある場所に設置しないでください。

製品の落下が思わぬ事故の原因となります。また、製品の性能低下に繋がります。

直射日光の当たる場所、調理器具や暖房設備など高温になる場所での使用・保管はしないでください。

発熱・変色・変形の原因となります。使用温度範囲の条件に準じてお使いください。

接続の際はケーブルを引っ張らず、コネクタを持って行ってください。

断線や発熱の原因となります。



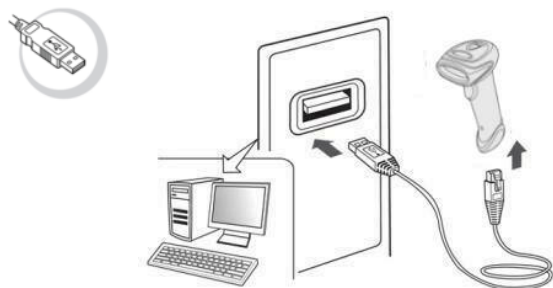
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

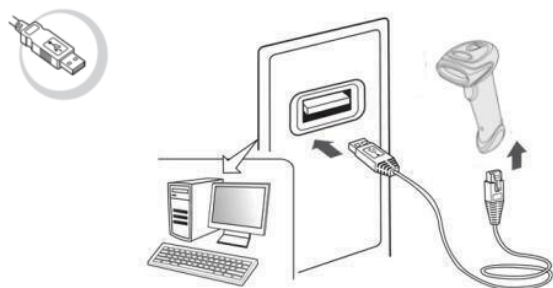
インターフェースコネクタの接続

本バーコードリーダーのインターフェースはUSB、RS232C を選択頂けます。
選択したインターフェースに応じてホストに正しく接続して下さい。

・ USB (HID) インターフェース

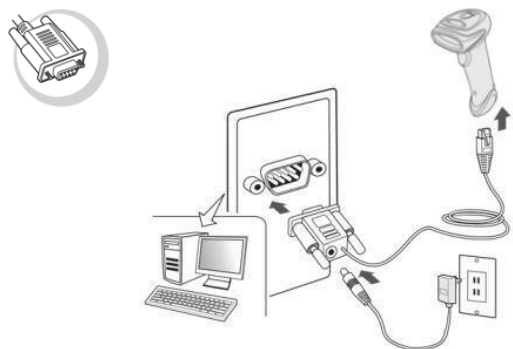


・ USB (HID) インターフェース



***USB (COM) ポートエミュレーションをご選択の方はホストに USB コネクタを接続する前に
専用の USB シリアルドライバーをインストールして下さい。**

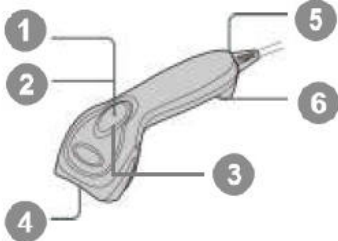
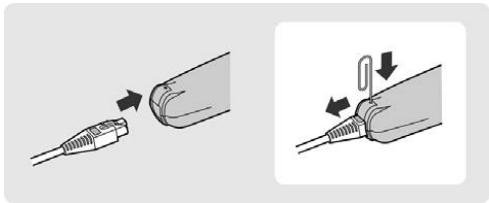
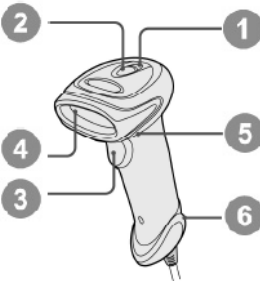
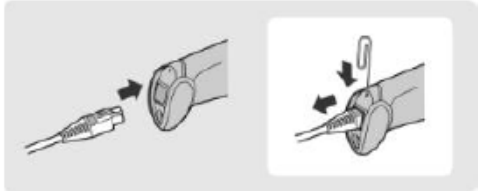
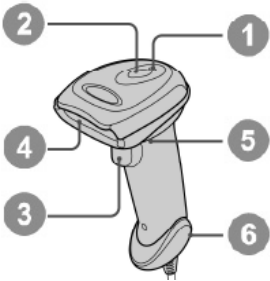

・ RS232C インターフェース



***電源は AC アダプタ又は Dsub9 ピンから電源の供給を行って下さい。**

各部名称

各モデルの各部名称は以下の表をご参照下さい。

モデル名	ケーブルの着脱方法
F560/A560 	
L680 	
F780/A780 	

① : パワーインジケータ

③ : トリガースイッチ

⑤ : ビーパ

② : ステータスインジケータ

④ : スキャンウィンドウ

⑥ : ケーブルリリースホール

<ケーブルの着脱方法>




ケーブルリリースホールにペーパークリップなどを挿し込みながらケーブルを引き抜きます。ペーパークリップの挿し込みが不十分な状態で無理に引き抜くと、ケーブルのロックピンが破損する可能性がありますのでケーブルの着脱は十分にご注意下さい。

各インターフェースの導入時設定

機器お届け時にご指定のインターフェースに応じた設定を行なっております。

詳細な設定の必要がない場合は、接続してすぐにお使いいただけます。

繰り返しスキャナを機器に接続してもデータが入力されない場合は、本書の各インターフェースの導入時設定を再度読み取って頂くことでスキャナを再設定することが出来ます。

ご選択のインターフェース	導入初期値の設定ページ
 USB (HID) インターフェース	6 ページ
 USB (COM) インターフェース	7 ページ
 RS232C インターフェース	8 ページ

また、6 ページから 8 ページの設定項目は 1 次元モデル及び 2 次元モデルの共通設定となります。ご選択のデバイスを初期値にするためには特有の追加設定があり、必要に応じて下記の追加設定を行なってください。(出荷時設定には※が付加されています)

デバイス名	特有の追加設定
1 次元モデル L680	[16 ページ] LED イルミネーションコントロールを「レギュラーエイミング」に追加設定
2 次元モデル A560/A780	[16 ページ] エイミングコントロールを「レギュラーエイミング」に追加設定 [17 ページ] (漢字・2 バイト設定) バーコードエンコーディングフォーマットを「漢字 : Shift JIS」に追加設定 [18 ページ] (漢字・2 バイト設定) キーボードアウトプットを「漢字 : Shift JIS」に追加設定

各インターフェースの導入時設定



USB (HID) インターフェース

Factory Default (工場出荷時設定)



USB スタンダードインターフェース



日本語キーボードレイアウト



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

* L680、A560、A780 の出荷時設定を行う場合引き続き 5 ページの追加設定を行って下さい。

バイブレーションを「有効」にされる場合は 15 ページを参照して下さい。

各インターフェースの導入時設定



USB (COM) インターフェース

*USB (COM) インターフェースでご使用の場合は、接続機器に専用の USB シリアルドライバーのインストールが必要となります。

↓ USB シリアルドライバーは下記のサイトよりダウンロード出来ます。 ↓

<http://www.improject.co.jp>

Factory Default (工場出荷時設定)



USB (COM) ポートエミュレーション



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

*L680、A560、A780 の出荷時設定を行う場合引き続き 5 ページの追加設定を行って下さい。

バイブレーションを「有効」にされる場合は 15 ページを参照して下さい。

各インターフェースの導入時設定



RS232C インターフェース

RS232C の通信初期設定			
ボーレート	: 9600	パリティ	: None
データ長	: 8	ストップビット	: 1

Factory Default (工場出荷時設定)



RS232C インターフェース



設定開始



バイブレーションコントロール



無効



設定終了



本設定を繰り返し行ってもデータが表示されない場合は販売店にお問い合わせ下さい。

* L680、A560、A780 の出荷時設定を行う場合引き続き 5 ページの追加設定を行って下さい。

バイブレーションを「有効」にされる場合は 15 ページを参照して下さい。

オペレーションモード

ご使用の用途に応じてスキャナの動作モードを選択することが出来ます。

該当の項目を読みとって頂くことで設定が変更されます。

トリガーモード ※	
(F560、L680、F780)	(A560、A780)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは待機状態になります。	
ローパワーモード	
(F560、L680、F780)	(A560、A780)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 バーコードをデコードするとスキャナは休止状態になります。 この設定をすることで省電力設定としてご利用いただけます。	
プレゼンテーションモード	
(F560、L680、F780)	(A560、A780)
	
周囲の光の差分を検知して読み取り LED を発光します。 デコード後一定時間が経過すると自動消灯し、周囲に変化があると再度自動発光します。 注1：周囲 Lux の環境が十分でない場合、適切に動作しない場合がございます。	
フォースモード	
(F560、L680、F780)	(A560、A780)
	
自動で継続的に読み取り LED を発光します。 バーコードを高速でデコードする環境にはこのモードをご利用ください。	

オペレーションモード






フラッシュモード	
(F560、L680、F780)	
	
自動で継続的に読み取り LED を点滅発光します。 点滅のタイミング時間は設定により変更することが出来ます。	
オルタネイティブモード	
(F560、L680、F780)	
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光中は連続して読み取りを行いますが一定時間が経過すると消灯するモードです。	
トグルモード	
(F560、L680、F780)	(A560、A780)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光中は連続して読み取りを行い発光中に再度トリガーを引くと読み取り LED を消灯します。	
レベルモード	
(F560、L680、F780)	(A560、A780)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光します。 発光してから設定した時間を経過したら読み取り LED を消灯します。	
マルチプルリードモード	
	(A560、A780)
	
トリガーを引くと読み取り LED を発光し、発光中は連続して読み取りを行います。 二度読み防止機能を追加する場合は (19 ページ) の「ユニークバーコードリポーティング」の設定を有効にしてください。	

レコードサフィックスの設定 (USB)

読み取りデータに終端キーを付加する設定となります。

例：リターンキーを設定すると読み取りデータにリターンキーを自動的に付加して出力します。



該当項目を読み取っていただくことで設定が付加されます。

無効	RETURN ※
	
TAB	SPACE
	
ENTER	
	

キャプスロックの設定 (小文字・大文字反転機能)

お使いの機器のキーボードのキャプスロック状態が初期値と違う場合に設定を行ってください。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：キャプスロック
	

③：以下の3項目より1つを選択して読み取ってください。

無効 ※	有効
	
自動判別	
	





④：設定終了


RS232C インターフェースの通信設定

初期値の通信設定がお使いの通信設定と違う場合に設定を行ってください。
















該当項目を読み取って頂くことで設定が付加されます。

ボーレート (Baud Rate (BPS))

38400	19200
	
9600 ※	4800
	

※他のボーレートをご希望の場合はプログラミングマニュアルで設定して下さい。

データフレーム (Data Frame)

8ビット、パリティなし、1ストップビット ※	7ビット、スペースパリティ、1ストップビット
	
8ビット、奇数パリティ、1ストップビット	7ビット、マークパリティ、1ストップビット
	
8ビット、偶数パリティ、1ストップビット	7ビット、パリティなし、2ストップビット
	
8ビット、スペースパリティ、1ストップビット	7ビット、奇数パリティ、2ストップビット
	
8ビット、マークパリティ、1ストップビット	7ビット、偶数パリティ、2ストップビット
	
8ビット、パリティなし、2ストップビット	7ビット、スペースパリティ、2ストップビット
	
7ビット、奇数パリティ、1ストップビット	7ビット、マークパリティ、2ストップビット
	
7ビット、偶数パリティ、1ストップビット	
	

レコードサフィックスの設定 (RS232C のみ)

読み取りデータに終端キーを付加する設定となります。

例：CR を設定すると読み取りデータに CR を自動的に付加して出力します。

該当項目を読み取っていただくことで設定が付加されます。

無効	CR ※
LF	CRLF
TAB	SPACE

パワーオンビープの設定

バーコードリーダーの起動音の設定をします。

ご使用の環境で起動音を鳴らす必要がない場合は設定を行ってください。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：パワーオンビープ

③：以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。



有効 ※	無効

④：設定終了

グッドリードデュレイションの設定

読み取り成功音の鳴動時間を設定します。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

① : 設定開始	② : グッドリードデュレイション
	

③ : 以下の 5 項目より 1 つを選択して読み取ってください。



短い	標準 ※
	
長い	最長
	
最短	
	

④ : 設定終了







ブザーの設定

読み取り成功音の音程を設定します。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

① : 設定開始	② : ブザー
	

③ : 以下の5項目より1つを選択して読み取ってください。



無効	低音
	
標準 ※	高音
	
最高音	
	

④ : 設定終了




バイブレーションコントロール

読み取り時のバイブレーションの設定をします。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

① : 設定開始	② : バイブレーションコントロール
	

③ : 以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。



無効 ※	有効
	

④ : 設定終了




LED イルミネーションコントロール (L680 のみ)

エイミング（照準）の投光方法の設定をします。

① ～ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：LED イルミネーションコントロール
	

②：以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。



レギュラーエイミング	インテリジェントモード（常時投光）※
	

④：設定終了




エイミングコントロール (A560/A780 のみ)

エイミング（照準）の投光方法の設定をします。

① ～ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：エイミングコントロール
	

③：以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。

レギュラーモード※	インテリジェントモード（常時投光）
	



④：設定終了


漢字・2バイト出力設定





バーコードエンコーディングフォーマット

読み取ったバーコードのエンコード方式を設定します。

①～④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：バーコードエンコーディングフォーマット
	

③：以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。

漢字 (UTF-8 設定)	漢字 (Shift JIS 設定) (汎用)
 	 

④：設定終了


USB (HID) で漢字を読み取り出力する場合は「Shift JIS」もしくは「UTF-8」に設定する必要があります。

通常日本では「Shift JIS」が一般的ですが、海外では「UTF-8」が一般的なため必要に応じて設定して下さい。



「Shift-JIS」を設定する場合は 18 ページの「キーボードアウトプット」も「Shift-JIS」に変更して下さい。「UTF-8」を設定する場合本ページの設定のみで問題ありません。

漢字・2バイト出力設定



キーボードアウトプット

読み取ったバーコードの出力フォーマットを設定します。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

① : 設定開始	② : キーボードアウトプット
	

③ : 以下の項目を読み取ってください。



漢字 (Shift JIS 設定)
 

④ : 設定終了




ユニークバーコードリポーティング

マルチプルリードモード選択時にこの設定を有効にすることで、トリガーを引いている間は同一バーコードデータを読み込まない設定になります。

① ~ ④の順番に読み取って頂くことで設定が付加されます。

①：設定開始	②：ユニークバーコードリポーティング
	

③：以下の2項目より1つを選択して読み取ってください。

無効 ※	有効
	

④	設定終了
	

* 本設定は10ページの「マルチプルモード」と連動して利用します。

「マルチプルモード」と共に有効にした場合トリガーを引いている間連続読み取りを行いますが、同じデータのバーコードの読取りは行いません。

システムコマンドバーコード

工場出荷時設定



本設定バーコードを読み取ると全ての設定が工場出荷時の初期値に戻ります。

システムインフォメーションリスト



本設定バーコードを読み取ると指定したインターフェースからバージョンを出力します。

PowerTool ホストリンク



Cino が提供する設定ツール「PowerTool」に接続するための設定コードです。

セーブユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると現在の設定をフラッシュエリアに保存します。

ユーザーデフォルト



本設定バーコードを読み取ると保存した設定を呼び出して設定されます。

サンプルバーコード

UPC-A



UPC-E



JAN-13



JAN-8



Code39



Codabar / NW-7



Interleaved 2of5



サンプルバーコード

Code128



GS1 Databar (RSS-14)



新雑誌コード

(JAN13 + アドオン5桁)



QR Code



Data Matrix





株式会社アイエムプロジェクト

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚 2-21-34

アルトピアノノ 2F

TEL : 048-299-5062 FAX : 048-456-5382

<http://www.improject.co.jp>

202101